

生物多様性関連年表（2001～2011年）

年	国内における環境動向		社会的背景 (流行語)
	自然保護関係	全般的事項	
2001 (H13)	共管事務(森林・緑地・河川・海岸・天然記念物) 第9次鳥獣保護事業計画の基準策定(生物多様性の保全を明記) 重要湿地500選定	省庁再編(環境庁から環境省へ) 森林・林業基本法制定、森林・林業基本計画閣議決定 水産基本法制定 都市緑地保全法改正(管理協定制度等) 河口湖3町村遊漁税条例(ゴミ対策へ) 小泉総理所信「自然と共生する社会の実現」を表明 21世紀「環の国」づくり会議報告	有明海のり不作問題 宮崎シーガイア(リゾート法第1号)経営破綻 長野県「脱ダム宣言」 米国同時多発テロ発生 牛の狂牛病感染確認、全頭検査開始 (米百俵)
2002 (H14)	新・生物多様性国家戦略を関係閣僚会議決定 自然公園法改正(「生物の多様性の確保」を責務に追加など) 鳥獣保護法改正(アザラン類などを同法の対象に追加) 自然再生推進法制定 (過去に損なわれた自然環境の保全、再生、創出、維持管理を図る法的枠組み)	地球温暖化対策推進大綱策定 国土審議会基本政策部会報告「国土の将来展望と新しい国土計画制度のあり方」公表 土壌汚染対策法制定 自動車リサイクル法制定 化学物質対策や水質基準に生態系保全の観点を導入	拉致被害者5人帰国 日韓共催サッカーW杯 ノーベル賞ダブル受賞(小柴氏、田中氏) 牛肉偽装事件、食品不正表示の横行 失業率5.5%(過去最悪水準) 多摩川でアザラン発見(タマちゃん) (タマちゃん)
2003 (H15)	カルタヘナ法制定(遺伝子組換え生物等の使用等の規制を図る法的枠組み) 種の保存法改正(希少種の譲渡規制の適正化) 日本産最後のトキ「キン」が36歳で死亡 自然公園法改正(自然公園における生物の多様性の確保が記載)	循環型社会形成推進基本計画を閣議決定 文化的景観の重要地域(棚田など180箇所)が選定 PCB廃棄物処理基本計画決定 環境教育推進法制定(環境教育の推進、環境の保全)	イラク攻撃開始・バグダッド陥落 新型肺炎(SARS)世界各国で大流行 個人情報保護法成立、住基ネット稼働 阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝 (マニフェスト)
2004 (H16)	外来生物法制定 (特定外来生物の輸入、飼養等の規制、防除の促進を図るもの) 種の保存法施行令改正(「国内希少野生動植物種」として、アマミノクロウサギ等11種を追加) 特定外来生物被害防止基本方針を閣議決定(被害防止の基本構想、種の選定・取扱い・防除に関する基本的事項等)	文化財保護法改正(農林水産業に関連する文化的景観を文化財として保護) ヒートアイランド大綱策定(総合的、効果的なヒートアイランド対策を推進) 大気汚染防止法改正(VOC排出規制等の追加)公布 景観法公布(都市・農産漁村等における良好な景観の形成を図る法的枠組み)	自衛隊イラク派遣 新潟県中越地震 北朝鮮拉致被害者家族帰国 国民年金未納問題 イラク武装勢力による邦人人質事件 神栖町有機ヒ素汚染 冬のソナタブーム (チョー気持ちいい)
2005 (H17)	自然再生基本方針を閣議決定 第7回自然環境保全基礎調査開始(植生調査、浅海域生態系調査等) 動物愛護管理法改正(基本方針及び動物愛護管理推進計画の策定、動物取扱業の適正化等) 自然公園法施行令及び自然環境保全法施行令改正(特別保護地区、原生自然環境保全地域への動物の放出を規制) 知床が世界自然遺産に登録	食料・農業・農村基本計画を閣議決定 森林・林業の再生に関するPTの設置(森林の多面的機能の發揮、林業・山村の再生を図る施策について検討) 景観緑三法全面施行 アスベスト被害対策	JR福知山線脱線事故 耐震偽装問題 衆議院議員選挙で自民党圧勝 愛知万博「愛・地球博」 チーム・マイナス6%運動 鳥インフルエンザ世界的に広がる エチゼンクラゲ大発生、漁業被害多発 (クールビズ)
2006 (H18)	鳥獣保護法改正(入猟者承認制度の創設、保全事業の創設等) レッドリスト(鳥類、爬虫類、両生類、その他無脊椎動物)改訂 再飼養支援データベース・ネットワークシステムの運用開始	第三次環境基本計画を閣議決定 森林・林業基本計画改定 有機農業の推進に関する法律制定 多自然川づくり基本指針策定 美しい山河を守る災害復旧基本方針の改定(災害復旧事業においても、河川環境の保全・復元の目的を徹底) 砂防事業における景観形成ガイドラインを策定 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律の一部を改正	「もったいない」精神・LOHASが流行 荒川静香金メダル 小泉首相任期満了、安部内閣発足 秋篠宮家長男悠仁親王誕生 クマの大量出沒 (イナバウアー、品格)
2007 (H19)	第三次生物多様性国家戦略が閣議決定 エコツーリズム推進法制定 レッドリスト(哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物II)の改訂(掲載種数は2694種→3155種に) 「尾瀬国立公園」が29番目の国立公園として新たに指定 ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する基本計画策定 知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画の策定	水産基本計画改定(海洋の開発・利用と海洋環境の保全) 農林水産省生物多様性戦略(生物多様性保全を重視した農林水産業の推進) 海洋基本法制定(総合海洋政策本部を内閣に設置) 21世紀環境立国戦略が閣議決定(「自然共生社会」「低炭素社会」「循環型社会」への人材育成) 鳥獣被害防止特措法制定(生物の多様性の確保、鳥獣保護事業計画との整合性の確保を明記)	バイオガソリン利用が進む、食物価格が上昇 「不都合な真実」アカデミー賞2部門授賞 消えた年金問題表面化 安部首相辞任、福田内閣発足 サブプライム問題表面化、世界的金融不安広がる (どげんかせんといかん、ハニカミ王子)
2008 (H20)	生物多様性基本法制定 環境省主催国民対話「環境大臣と生物多様性の取組について考える集い」(東京都) 新潟県佐渡市にて人工繁殖のトキ10羽を野生下に放鳥 生物多様性ちば県戦略(千葉県) 生物多様性保全県戦略(埼玉県)	海洋基本計画の策定 省エネ法改正(CO2削減の強化、対象事業所拡大へ) 温暖化対策法改正(省エネルギー化の強化) 国土利用計画第四次全国計画が閣議決定(持続可能な国土管理を行うことを基本方針とする) 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)設立 国際生物多様性年国内委員会(地球生きもの委員会)設立 生物多様性に関するコミュニケーションワード「地球のいのち、つないでいこう」の決定及び「地球いきもの応援団」の発足	米、初の黒人大統領オバマ氏が当選 リーマンショック 米、グリーン・ニューディール概念の発案 北極圏の気温5度上昇、記録的な水準に 日本各地で記録的集中豪雨 (ゲー、アラフォー)
2009 (H21)	国指定鳥獣保護区に北硫黄島・南鳥島・やんばる(安田)を新規指定 愛知県、兵庫県、長崎県、滋賀県が生物多様性戦略を策定 自然公園法改正・自然環境保全法改正(生物多様性の確保を目的に追加、海域保全の強化、生態系維持回復事業制度の創設) 生物多様性白書の発行(最初の編纂)	海岸漂着物処理推進法制定 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」打上げ 世界的なミツバチ異常死滅、農業への影響深刻化 エコポイント制度運用 日本経団連生物多様性宣言 生物多様性民間参画ガイドライン公表 生物多様性条約市民ネットワーク設立	新型インフルエンザの大流行 オーストラリア旱魃、大規模森林火災発生、死者多数 衆員選で民主党が圧勝、鳩山内閣発足 八ッ場ダム、川辺川ダム等建設中止問題 鳩山首相、CO ₂ 25%削減を国連で表明 (政権交代)
2010 (H22)	里地里山保全活動活用行動計画の策定 生物多様性保全活動促進法の制定 生物多様性国家戦略2010が閣議決定 生物多様性総合評価報告(JBO)の公表 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催 名古屋、流山、高山、北九州が市レベルでの生物多様性戦略を策定	「地球温暖化対策基本法案」閣議決定 住宅エコポイント(環境対応住宅普及促進事業)受付開始	ドバイに超高層ビル 宮崎県にて口蹄疫が流行 (ゲゲゲの～) (流行語15位は「生物多様性」)
2011 (H23)	海洋生物多様性保全戦略の策定 小笠原諸島が世界自然遺産登録 第1回人と自然の共生懇談会の開催(7月11日)	環境影響評価法の一部を改正(計画段階配慮書の手続の新設、方法書説明会の開催、電子縦覧の義務化)	霧島、新燃岳噴火活動を開始 東日本大震災(福島原発事故)